

愛知みずほ大学短期大学部平成 20 年度夏の公開講座報告

矢野由紀子 緒方麻里* 依田和枝 神戸美枝子

愛知みずほ大学短期大学部公開講座委員会 *愛知みずほ大学瑞穂高等学校

公開講座主題 「赤十字救急法基礎講習・救急員養成講習」

開催月日及び講義題名は下記の如くである。受講者 29 名でその内訳は愛知みずほ大学短期大学部学生 16 名、愛知みずほ大学瑞穂高等学校生 12 名、愛知みずほ大学短期大学部卒業生 1 名であった。

各講義内容

第 1 日 平成 20 年 8 月 1 日 (金) 9 時 00 分～17 時 00 分

「赤十字救急法について」(学科)

「一次救命処置 (心肺蘇生法・AED を用いた除細動) (気道異物除去)」(学科)

「総合練習」(実技)

「実技検定」(基礎講習実技テスト 40 分間)

「学科検定」(基礎講習学科テスト 15 分間)

の項目に分けて実施。上記の二つの検定に合格しないと次の救急法救急員養成講習に進めない規則になっている。

第 2 日 平成 20 年 8 月 2 日 (土) 9 時 00 分～17 時 00 分

「救急法救急員について」(学科)

「急病」(学科)

「けが」(学科)

「きずの手当て」(学科)

「きずの手当て」(実技)

第 3 日 平成 20 年 8 月 4 日 (月) 9 時 00 分～17 時 00 分

「骨折の手当」(学科)

「骨折の手当」(実技)

「搬送」(学科)

「搬送」(実技)

「救護」(学科)

「総合実技」(シミュレーション)

の項目に分けて実施。

第 4 日 平成 20 年 8 月 5 日 (火) 9 時 00 分～12 時 00 分

「学科検定」(救急員養成講習テスト 40 分間)

「総合練習」

「実技検定」(救急員養成講習テスト 60 分間)

の項目に分けて実施。

愛知みずほ大学短期大学部夏の公開講座について

日本赤十字社の基本理念である「人道」つまり「人間の苦痛を軽減することに努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保する」という考えに基き講習をとおして、救急法の普及に取り組んでいる。

最終日に行った、学科検定、実技検定の合格者は 8 月下旬に赤十字救急法救急員「認定証」がでて救急時や災害時の場で活躍できる。

暑い 8 月初旬の 4 日間全員熱心に受講した。この講習会は学内及び卒業生などに広く呼びかけて行っているものである。本年度は前項に掲げたように 29 名の参加者があった。学科と実技は「赤十字救急法基礎講習教本」や「赤十字救急法講習教本」に従い実施した。学科や実技指導は、本学内で赤字救急法指導員の資格を有する、矢野由紀子及び緒方麻里が中心になり、進めた。

第 2 日には、本学外赤十字救急法指導員の品川基之氏、第 3 日には、前述の品川基之氏と赤十字救急法指導員の佐久間美由紀氏に技術指導に加わって頂き成果を得た。

受講者は、赤十字マークの意味や歴史、傷病者の観察及びトリアージタグの表示、AED の取り扱いなど、日ごろあまり目にしたり、手にしない器具に触れたりし、広範囲な勉強をした。

講習会の最後に、今回の成果及び次年度の参考資料を得るために 13 項目のアンケートをこころみした。

その主なものは、AED、包帯法、傷の手当、骨折の手当て、熱中症の手当て、三角巾の使い方、止血法、心肺蘇生法などが今後おおいに役立つので忘れないよう再度教本を見ながら復習をした

資料

い。教えてもらったこと全部が役に立つことばかりだったので講習に参加してよかった。講習日程は今回のように4日間位が良好と答えている。